

書店員さんたちの創意工夫

街にある書店が次々と閉鎖に追い込まれている昨今、知恵とアイデアを沸き立たせ活路を拓いている全国の書店をご紹介します。



「心に響く小さな5つの物語」をウェディングドレスとともに展開



岩瀬書店福島駅西口店（福島県福島市）



岩瀬書店
福島駅西口店店長
半澤裕見子



致知出版社の本がずらりと並ぶ書棚

人生の道標となる本をイチオシ本に

弊社は福島県内で七店舗を構える書店チェーンで、二〇一五年に創業百三周年を迎えました。新刊や話題書を並べるのはもちろんですが、当店の特徴はスタッフイチオシの本を大きく展開する点です。これはと思った本は、入り口正面にワゴンを設置したり、一冊ごとにラッピングをしたりする。致知出版社さんの『心に響く小さな5つの物語』を展開した時は、結婚式の贈り物にもおすすめしたいと思い、昔、自分の着たウェディングドレスをアレンジし、若い女

性スタッフと力を合わせて飾りつけもしました。

推す本を選ぶ基準は、仕事に迷った時や人生で壁にぶつかった時、道標となったり、生きるヒントを得られる内容であるということです。当然、私の個人的な視点が入りますが、本屋もただ話題書を並べるだけではダメで、「絶対にこの本はおすすめですよ」という書店員の想いは必ずお客様にも伝わるものだと考えています。

自分一人の時間に何を
しているか

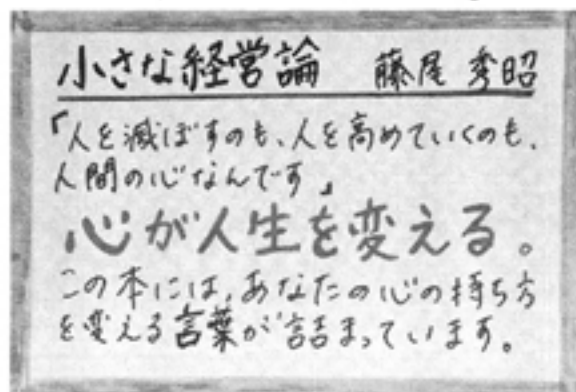
私はもともとパートとしてこの店に入り、数年後に文芸書を担当するようになりました。その際、上層部から「君で大丈夫なのか」と言われたことにショックを受け、これは自分で知識と実力をつけなければと本を読み始めるようになり、盛岡のさわや書店で店長をされていた伊藤清彦さんが、年に何百冊もの本を読み、心に響いた本をお客様にすすめておられると聞き、私も一年に最低百冊以上を読むことを課

してきました。

私はパート時代から朝は皆よりも三十分以上早く来て店内の掃除をするようにしていましたが、開店前の静かなひととき、偶然手にしたのが、致知出版社・藤尾秀昭社長の『小さな人生論』でした。

以来、このシリーズは何度となく頁を開いてきましたが、私の一番好きな『小さな経営論』に次のような言葉があります。

「冥冥の志なき者は、昭昭の明なく、惛惛の事なき者は、赫赫の功なし」



自分一人の時間に何をしているかで人生は決まるという意味だそうですが、人の見えないところで積み重ねる努力こそが、自分の肥やしとなり、未来を創っていくのではないかと信じています。そういう生きるための指針を得られるような本を、これからは熱を込めておすすめしていければと考えています。